

## 統計調査員を募集

町では、国や県が実施する統計調査に従事していただける統計調査員を募集します。

### 登録調査員制度とは

統計調査を実施する際、あらかじめ調査員として登録している方に調査を依頼し、統計調査員の仕事に従事していただく制度です。

### 統計調査員とは

国勢調査や経済センサスなどの統計調査において、調査対象となる世帯や企業を訪問し、調査票の配布や回収・点検などに従事する方のことです。

調査員の身分については、国や都道府県知事などから統計調査の都度任命される非常勤の公務員です。そのため、調査活動中の事故は公務災害補償が適用され、調査で知り得た内容については法律で秘密の保護が義務付けられています。

### 調査員の仕事の内容

調査員事務説明会への出席・調査の準備・調査票の記入依頼と配布・記入された調査票の回収・集めた調査票の点検と整理・調査関係書類の提出

※ 調査の種類によって異なる場合があります。

### 調査員報酬

調査員には、統計調査ごとに定められた報酬が支払われます。調査の種類や受け持ち件数などにより異なりますが、およそ2～7万円程度です。(必ずしもこの範囲内とは限りません)

### 登録資格(次の要件を満たす方)

- ▽責任を持って調査事務を遂行できる満18歳以上の方
- ▽警察・徴税などの事務に直接関係のない方
- ▽被選挙者、選挙事務所の職員など選挙に直接関係のない方
- ▽暴力団員、その他の反社会的勢力と密接な関係のない方

### 登録方法

「統計調査員希望者申込書」を記入の上、政策協働課調査広報係まで持参、または郵送してください。申込書は政策協働課窓口にあります。町ホームページからダウンロードすることもできます。

## シリーズ 消費生活相談<sup>163</sup> 震災に便乗した悪質商法に注意

### ○ 相談事例

- ・見た目では自宅に被害はないが、訪問してきた工業者に「このままでは危ない。すぐに工事が必要だ」と言われた。
- ・「保険金を使えばタダで住宅修理ができる」と言われたが本当か。
- ・市役所を名乗り、義援金を集めると訪問されたが信用できるか。

### ○ 被害を防ぐアドバイス

- ・地震などの災害が起こると、その際の混乱や被災者を支援したいという気持ちにつけ込んだ便乗商法と疑われる相談が寄せられます。今後、トラブルが広がる可能性がありますので、注意が必要です。
- ・住宅修理などの勧誘をされてもその場ですぐに契約せず、複数の事業者から見積もりを取ったり、周囲に相談したりして慎重に契約しましょう。頼んでもいないのに押し付けてきて、しつこく勧誘する事業者には特に注意してください。
- ・「保険金使える」と言われてもその場ですぐに契約せず、加入先の保険会社や保険代理店に相談してください。
- ・公的機関が、電話や訪問などで義援金を求めることはありません。募っている団体などの活動状況や用途をよく確認してください。

### ◎ 知多半田消費生活センターでは消費生活相談を行っています。

■ 日 月曜日～金曜日(祝日、第4水曜日、年末年始(12月29日～1月4日)除く)

■ 時間 来所相談：午前9時30分～午前11時 午後1時30分～午後3時30分

電話相談：午前9時30分～午後4時

※ 来所相談の場合もまずは電話で確認をお願いします。

■ 問い合わせ先 知多半田消費生活センター(クラシティ3階市民交流センター内) ☎(32)2444

### ■ 申し込み・問い合わせ先

政策協働課調査広報係

☎(48)1111(内1310)

〒470-2292 阿久比町大字卯

坂字殿越50

## ご存じですか? 検察審査会

交通事故、詐欺などの犯罪の被害に遭い、警察や検察庁に訴えたが、検察官がその事件を裁判にかけてくれないことがどうも納得できない。このような方のために、検察官が事件を裁判にかけなかったことが正しかったかどうかを審査する機関として、検察審査会があります。

検察審査会は、全国に165カ所あり、地方裁判所と主な地方裁判所支部の建物内にあります。

検察審査会では、選挙権を持っている皆さんの中からくじで選ばれた11人の検察審査員が、事件を裁判にかけなかったことが正しかったかどうかの審査をします。

皆さんも、検察審査員に選ばれることがあるかもしれません。選ばれたときには、国民の代表として、ご協力をお願いします。

### ■ 問い合わせ先

半田検察審査会事務局(半田市宮路町)

☎(21)0372

## 今月号の表紙

凧あげ大会が1月28日に町内4地区で行われました。子どもたちは保護者に見守られながら、手作りの凧が空を飛ぶ様子を嬉しそうに眺めていました。東部地区では各地区で作製された大凧の審査会があり、豪華な絵付けがなされた凧が風に乗り天高く上ると、会場からは大きな歓声が上がりました。

### 編集後記

子どもの頃は雪が降り積もる日を心待ちにしていたのに、大人になってからは寒さや交通網のことを考え「積もらないといいな」と思うようになりました。それでもやはり、あたり一面真っ白の雪景色を見ると心が躍ります。昔の自分もまだどこかにいるんだなあと感じられる雪の日は、何だかホッと温かな気持ちになります。

